

一般財団法人千葉陸上競技協会

第9回理事会議事録

平成27年8月8日
一般財団法人千葉陸上競技協会

代表理事：

議事録署名人：

議事録署名人：

第9回理事会

日 時 平成27年8月8日(土)午後3時30分
会 場 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場会議室
出席状況 出席 24名 欠席 6名 計 24/30

決定事項

- (1) 第70回国民体育大会選手選考
- (2) 第70回国民体育大会監督選任
- (3) 各種駅伝競走大会選手選考方法
- (4) 各種駅伝競走大会監督選任方法

議事内容

1 開会 午後3時35分

2 定数確認 (高木専務理事)

定数30 出席 24名 欠席 4名 計 24/30

定款第37条により、本理事会は成立。

3 会長挨拶 (大岩会長)

(要旨) 朝早くからまた暑い中競技会運営に感謝する。記録的な暑さが続いているが、本日はご審議よろしく願います。

4 議長選出

高木専務理事から説明があった。

- ・議長選出については定款第36条により、「代表理事又は業務執行理事があたる。」とある。代表理事である大岩会長に議長をお願いする。

5 議事録署名人

大岩代表理事から説明があった。

- ・円滑な議事進行に御協力をお願いする。
- ・定款第41条により、「代表理事及び監事が記名押印する。」とある。よろしく願います。

6 議事

議長から、国民体育大会選手選考については強化員会での協議が終了していないので、議案（3）「各種駅伝競走大会選手選考方法について」から審議を行う旨説明があり、滝田道路競技部長に説明するよう指示があった。

（滝田道路競技部長）

- ・東日本女子駅伝、京都都道府県対抗女子駅伝、広島都道府県対抗男子駅伝について9月5日及び11月24日の予選会の結果を参考に選考を進める。

議長から提案について質問、意見が求められたが特になかった。

全員異議なく承認された。

議長から、議案（4）「各種駅伝競走大会監督専任について」について、滝田道路競技部長に説明するよう指示があった。

（滝田道路競技部長）

- ・監督専任についても、予選会を含め競技会等の結果を参考に選任の検討を進める。ただし、支援コーチは選考された選手の所属の監督にお願いします。

議長から提案について質問、意見が求められた。

（高木専務理事）

- ・支援コーチの選任については事務局へ報告が必要である。

（滝田道路競技部長）

- ・了解した。

議案（1）及び（2）について、この時点で原案作成中のため、議長職権により先に報告事項を取り扱った。

7 報告事項

（1）各委員会等報告について

議長から各専門委員長等に指示があり、委員会ごとに各委員長または代表が説明した。

総務委員会（市東委員長）

- ・特にない。

競技運営委員会（立澤委員長）

- ・第65回県民体育大会が鴨川市陸上競技場で開催される。利用施設等の確認のため、8月23日開催の安房陸上競技記録会に合わせ視察を実施する。

強化委員会（伊東委員長）

- ・特にない。

施設用器具委員会（松本委員長）

・特にない。

高体連（木内委員長）

- ・ 7月29日から8月2日までインターハイが和歌山で開催された。成績は、昨年と比べ若干向上している。都道府県別の得点で比較すると、本県男子は37点で7位である。1位は東京で100m200mが強く、千葉の得点は東京の半分である。女子は15点で14位、1位は大阪でオールラウンドに得点を重ねる学校がある。強化委員会と連携を図り、競技力向上に向け合宿等を計画していく。

中体連（舟橋委員長）

- ・ 8月6日から7日に関東中学大会が開催された。男子総合は117点で2位、1位埼玉とは6点差である。1年100mと砲丸投で得点がなかった。女子総合は110.33点で第1位、200mと砲丸投以外で順調に得点できた。男女総合227.33点は千葉県歴代最高得点である。8月17日からの全日本中学に向け、男子100m平野はランキング4位、走幅跳宮崎は日本記録と同等以上の記録、女子800m石川と滝口は上位入賞が期待、リレーはちはら台南がランキング2位で優勝の可能性大、走高跳の上原は2連覇がかかっている。

マスターズ（柳田理事）

- ・ 7月26日に第36回千葉マスターズ選手権を開催した。過酷な条件であったが県新記録及び日本新記録も達成され、林英昭選手が最優秀選手に選ばれた。運営協力に感謝する。棒高跳びのバー押さえの金具がなく、代用品を利用した。用器具の不備等ないようにお願いしたい。

（2）その他

議長からその他報告があれば発言するよう指示があり、以下の報告があった。

（高木専務理事）

- ・ 1000kmリレーは7月24日青森を出発、本県には8月5日銚子、6日に旭市から県庁、7日は東京に到着、15日間の日程は無事終了した。
- ・ 8月6日世界陸上結団式が開催された。本県関係では戸部選手が出場するが、現在は在籍大学のある茨城登録である。

議長から報告について質問、意見が求められた。

（藤原副会長）

- ・ 本年度前期のトラックアンドフィールドの試合が終了した。その中で競技会運営全体に問題点あるいは課題があったと思う。競技運営委員会を中心に整理検証すべきである。11月の委員長会議で検討する。マスターズでの用器具の不備についても、放置せず調査等をして再発防止に努めてほしい。

（舟橋中体連委員長）

- ・ 県中学校総体で棒高跳び支柱のビスがすでになかった。原因は不明で中体連でビス

を購入し使用した。事故防止のためにも対応が必要である。また、フィールドの電光表示板が見えず記録の確認ができない。早急な対応を望む。

(松本施設用器具委員長)

- ・要望はしている。本日も報告書を提出し要望する。要望を出すところまでしかできない。

(柳田マスターズ理事)

- ・マスターズでは応急処置をして使用した。

(舟橋中体連委員長)

- ・ビスが無い状態での使用は危険である。管理者は状況を把握しているのか、把握しているとしたら使用させるのはどうか。マスターズ大会では袋に入った棒高跳用工具セットごとなかった。中学通信の際はあったので、不備等の報告は無かった。

(高木専務理事)

- ・用器具の不備は管理者にすぐ連絡し、予備の部品で対応すべきである。予備の部品は必ず準備がある。使用者の判断で処置をせず、管理者が対応すべきである。

(舟橋中体連委員長)

- ・管理者で対応できないときはどうするのか。

(高木専務理事)

- ・破損、紛失等に備え必ず管理者は予備の部品を準備している。

議長から伊東強化委員長に、議案（１）「第70回国民体育大会選手選考について」に戻り説明するよう指示があった。

(伊東強化委員長)

- ・別紙資料のとおり提案する。提案内容は次のとおりである
男女29名まで登録でき、男女別の上限は19名である。

成年男子は

100m、川上拓也、中央大学。最終選考会優勝。入賞可能性あり。

800m、中村康宏、エポーリュAC。日本選手権4位。ふるさと出場。

400mH、野口直人、順天堂大学。最終選考会優勝。

走高跳、尾又平朗、チームミズノ。日本選手権8位。

走幅跳、毛呂泰紘、順天堂大学。日本選手権5位。

砲丸投、筒井崇広、日本大学。日本選手権6位。入賞可能性あり。

少年A男子は

100m、小澤優太、県立千葉南高校。最終選考会優勝。

400m、染谷翔、西武台千葉高校。和歌山インターハイ5位。

5000m、鈴木墨人、流通経済大学柏高校。最終選考会優勝。

400mH、山本竜大、成田高校。和歌山インターハイ3位。

棒高跳、新井拓磨、柏日体高校。和歌山インターハイ 1 位。

ハンマー投、小野翼、木更津総合高校。最終選考会優勝。

少年 B 男子は

1 0 0 m、平野壮太、茂原市立富士見中学校。関東中学大会 1 位。

走り幅跳、青柳柁希、成田高校。最終選考会優勝。

少年共通男子は

5 0 0 0 mW、永原秀人、成田高校。和歌山インターハイ 7 位。

三段跳、大坂智哉、成田高校。最終選考会優勝。

円盤投、田村勇太、市立船橋高校。和歌山インターハイ 7 位。

このほかに、成年少年共通種目 4 × 1 0 0 m リレー、梨本真輝、大東文化大学。最終選考会 2 位、関東インターカレッジ 2 位。

男子は 1 8 名である。

成年女子は

1 0 0 m、塩谷寛美、駿河台大学。関東インターカレッジ 2 位。

1 5 0 0 m、上田未奈、城西大学。日本選手権 5 位。

5 0 0 0 m、中村萌乃、ユニバーサルエンターテイメント。北海道ホクレンディスタンス入賞。

1 0 0 0 0 mW、道口愛、自衛隊体育学校。千葉県選手権 1 位。

走高跳、清水爽香、八千代松陰高校。和歌山インターハイ 5 位。成年少年の共通種目である。

走幅跳、清水珠夏、城北信用金庫。最終選考会優勝。

少年 A 女子は

4 0 0 m、藤井綾乃、市立船橋高校。最終選考会優勝。

3 0 0 0 m、加世田梨花、成田高校。和歌山インターハイ 5 位。

4 0 0 mH、太田麻香、成田高校。最終選考会優勝。

走幅跳、大槻優渚、県立安孫子高校。最終選考会優勝。

少年 B 女子は

走幅跳、杉村奏笑、千葉黎明高校。アジアユース 1 位、最終選考会優勝。

少年共通女子種目の候補者はいない。

女子は 1 1 名である。

議長から提案について質問、意見が求められた。

(伊東強化委員長)

- ・今回女子のリレーは出場しないことを補足する。

(藤原副会長)

- ・成年男子 8 0 0 m 中村選手の出場については問題ないか。

(伊東強化委員長)

- ・問題ない。

その他異議なく、全員一致で承認された。

議長から伊東強化委員長に、議案（２）「第70回国民体育大会監督選任」について説明するよう指示があった。

（伊東強化委員長）

- ・男子監督は伊東謙二、県立千葉東高校、女子監督は秋葉、旧姓花岡麻帆、県立幕張総合高校が担当する。

議長から提案について質問、意見が求められたが特になかった。

全員異議なく承認された。

8 その他

審議事項、報告事項が終了し、議長からその他の内容について発言が求められた。

（木内常務理事）

- ・要覧を作成中である。第1回校正原稿があがってきており、訂正修正を加え10月発行予定である。校正原稿を確認し、訂正修正があれば申し出てほしい。構成は、歴代役員一覧、定款規定、役員委員会構成、表彰関係、登録団体一覧、上部団体一覧、役員名簿、委員会名簿、高体連加盟校一覧、高体連常任委員一覧、中体連専門部名簿、主管大会一覧、県記録一覧、本県歴代国体結果一覧、本県都道府県対抗駅伝大会結果一覧、S級公認審判員一覧、平成25年度26年度役員名簿である。表彰関係では安藤百福記念章を追加する。名簿関係については個人情報に配慮し、原則氏名のみ記載する。

（塩谷理事）

- ・昨年度本協会の倫理規定を定めたが、要覧に記載したほうがよい。

（木内常務理事）

- ・了解した。

中村事務局長から、次年度本協会主管開催の関東選手権大会の競技役員ウェアについての動議があり、議長が職権で許可した。

（中村事務局次長）

- ・来年度本協会主催で開催する関東選手権において、競技役員にはウェア支給を予定している。暑い時期での開催である。大会開催3日間で、ポロシャツ2枚とハーフパンツ、帽子を配布し役員の服装を統一したい。急であるが検討をお願いしたい。

議長から質問意見等が求められたが、特に異議なく了解された。

(高木専務理事)

- ・ 11月23日に国際千葉駅伝の代替大会として中学校記録会実施予定である。

(伊東強化委員長)

- ・ 国体最終選考会の日程がインターハイ、関東中学大会と重なっている。インターハイ入賞者が事前の選考会に出場していない場合、最終選考会に出ざるを得ない。高校総体を選考会に加えることはできないのか？

(大岩会長)

- ・ この会議での審議事項ではない。体協の決定による。

(伊東強化委員長)

- ・ 要望事項である。

(舟橋中体連委員長)

- ・ 中体連は県総体県通信大会が予選会を兼ねている。

9 閉会

大岩会長から閉会が宣言された。

午後3時45分 閉会